

図書館だより



No. 2

平成 27 年 5 月 25 日発行



新緑の季節が過ぎ、もうじき梅雨の季節がやってきます。今のうちにたっぷりの日差しと青空を存分に楽しんでおきましょう。とは言っても、梅雨にも晴れ間はあります。5月から6月にかけては、あやめや菖蒲やかきつばたの開花シーズンです。さいたま市には毎年、6月の開花時期1ヶ月だけ開園する染谷花しょうぶ園があります。園内では、300種類以上約20,000株の花菖蒲が咲き誇るとのこと。梅雨のお花見を楽しむのにおすすめしたいスポットです。

さて、1年生もすっかり学校生活に馴染んでいますね。図書館を活用してくれている姿もよく見られるようになり、嬉しく思っています。図書館の蔵書数は、現在約34,000冊。3年間を存分に使って、たくさんの本と出会ってください。

四季折々の花絶景*

291-ジ 『日本の花絶景旅』 実業之日本社

季節を彩る美しい花々は見る人の心を和ませてくれます。家の中、通学路、学校、思い浮かべると様々な場所でみなさんも季節の花を目にしているはず。この本では、日本全国から選りすぐりの花の絶景スポットが紹介されています。どの場所も絶景の名にふさわしい風景が広がっていて、写真で見ても感動が広がります。

ところざわのゆり園や秩父・羊山公園の芝桜、日高・巾着田の曼珠沙華など、埼玉の絶景スポットの載っていますし、日帰りで行ける範囲の場所もたくさんあったので、ぜひ花の絶景を求めて四季折々お出かけを楽しんでみてください。

図書館が舞台のミステリー*

B913.6-モ 『れんげ野原のまんなかで』 森谷 明子 || 著 東京創元社

スキの生い茂る斜面のど真ん中にある秋庭市の秋葉図書館。そこへ配属された新米職員の子。辺りな場所にあるため、利用者は少なく、退屈気味に働いていた子だったが、次第に図書館へ利用者と共にいくつもの事件が舞い込み始め、その謎を解決するため奔走することになる。生い茂っているのは“スキ”なのに、なぜ書名は“れんげ”なのか、その謎の答えも読んでいくとわかります。

図書館の業務について正確に描かれているので、図書館や司書の仕事を知りたい人にも読んでほしい本です。

☕ コーヒーとお茶の時間展に行こう ☕

豊島区にある切手の博物館を知っていますか。ここは、日本および外国切手を約35万種、カバー(封筒)類を約15,000枚、図書約10,000冊、雑誌・オークション誌を約1,500種以上有する、国内でも珍しい郵便切手の博物館です。今この博物館の1階企画展示室では“コーヒーとお茶の時間”という企画展が行われています。コーヒーやお茶を愛した人たち、浮世絵や絵画作品に描かれた茶店やカフェ、美しいポットやカップ、美味しいお菓子など、約800点の世界のコーヒーとお茶に関する切手が勢揃いしています。その中には、不思議の国のアリスのティーパーティーを題材とした切手もあるそうです！女子にぴったりのおしゃれで楽しそうな企画展です。

開催期間: 2015年4月1日(水)~2015年6月28日(日) ※月曜休館

開催時間: 10:30~17:00

拝 覧 料: 大人: 200円、小中学生: 100円、障害者無料

※毎月23日は「ふみの日」で無料



693-ヤ 『切手で旅するヨーロッパ』 山田 庸子 || 著 ピエ・ブックス

手紙やはがきを送るのに欠かせない切手。その切手自体のデザインに注目してみたことはありませんか。料金を全納したことを示す証紙ですから、機能的であれば良いだけなのに、どの国でも意匠を凝らしたカラフルで素敵な切手を発行しています。国ごとのテイストの違いだけでなく、時代によっても歴史的な事情が反映されていたりして、切手の計り知れない魅力に圧倒されます。そうしてヨーロッパの切手を堪能した後は、日本の美しい記念切手を用いて、手紙やカードを送ってみませんか。ムーミンや世界遺産などいろいろな面白い切手があり、送られた人にも楽しんでもらえるはずですよ。

🎉 図書館イベント情報 🎉

6月は図書委員会主催のイベントが盛りだくさん！どれも楽しいイベントになるよう企画を進めていますので、みなさん、ぜひ参加してください。お待ちしております。



6月 4日(木) おはなし会
記念館 生徒ホール 16:10~

6月19日(金) 映写会
記念館 桔梗ホール 『アオハライド』 12:40~14:45

6月25日(木) 読書会
記念館 生徒ホール 16:10~



🍱 今月の知っておきたい〇〇の世界 🍱

今月の知っておきたい〇〇の世界、第2回目の今回は“お弁当の世界”を紹介します。

家庭の分だけ、お弁当の味があり、思い出がある。お弁当って、そんな存在ではないでしょうか。今日はどんな中身だろうと開けるのが楽しみだったり、お弁当といえばこの1品！という定番があったり、語り始めると、色々なエピソードが聞けそうです。中には自分で作っているという素敵な人もいますでしょうか。そんな人の自慢のおかずも知りたいところです。今は作ってもらっている人もいつか作る側へと立場が変わりながら、これから先もお弁当との縁が繋がっていくことでしょう。そんなお弁当の本を揃えてみました。読んでいて、ほっこりしてくれるのもまたお弁当パワーでしょうか。



十人十色のお弁当

596-7 『おべんとうの時間』 阿部 了 || 写真 阿部 直美 || 文 木楽社

名も知らない人たちのお弁当を覗いてみるのが、こんなに楽しくて、心をあたためてくれるなんて思わなかった！ 読んだ後、そんな気持ちにさせられる本です。

海女、素麺職人、猿まわし、ラジオ・パーソナリティー、茅葺き職人、遊覧船船頭…、様々な職業に就く人たちのとある日の手作りお弁当。ドーンと丸々1ページを使って載せられたお弁当は、具材も大きさも盛り付けもまさに十人十色。何だかとても新鮮です。そして、食べている時の笑顔がとてもいいです。お弁当のこと、仕事のこと、家族のこと、お弁当の食べながら語られた言葉を読みながら、そのお弁当を眺めていると、さっきまでは名も知らない人だった人に十年來の友人のような親しみを感じてきます。

お弁当の基本を掴む

596.4-8 『覚えておきたい！お弁当の基本111』 扶桑社

おかずを作って、お弁当箱に詰める。簡単な作業のように思えますが、お弁当のきちんとした詰め方、お弁当に適したおかずや作り方のコツなど、お弁当作りには実はいくつもの技が必要なのです。おかずの汁もれを防ぐ方法やごはんのおいしい詰め方、定番の美味しいお弁当のレシピなど、お弁当のすべてが詰め込まれた本です。また、お弁当を作る上で気になる衛生面についてもきちんと書かれているので安心してお弁当作りができます。

短時間で簡単に作れて、しかも、こんなにおいしそうなおかずが入っていたら、お弁当を作るのも食べるのももっと楽しくなりそう！ というレシピがたくさん載っていて、何から試してみようか悩んでしまいます。

お弁当が繋ぐ親子の絆

596-7 『461個の弁当は、おやじと息子の男の約束』 渡辺 俊美 || 著 マジックハウス

3年間、息子のためにお弁当を作り続けたお父さんのお話。「必ず3年間、休まず通って卒業する」高校入学と共にそう決意した息子に対し、「毎日、お弁当を作る！」と目標を立てたお父さん。簡単ではない息子との約束を守り、作り続けたお弁当はただただ作られたものでなく、お父さんのこだわりが詰まっています。旬を感じられる素材を使う、親子そろって大好きな卵焼きは毎日入れる、そうしておかずへのこだわりだけでなく、どんなお弁当箱が使いやすいか、仕事で各地を回る度に探したり、調理器具も使いやすさ丈夫さを考えた上で揃えたりと息子のお弁当を作るために一生懸命な姿が書かれています。そして、作られてきたお弁当は本当にどれもおいしそう。このおいしいお弁当を3年間食べてきた息子の感想にも感動します。

🏃 図書館司書の「今月はこの本を読みました」 🏃

山本ゆりさんの『syunkon カフェごはん5』(596-ヤ 宝島社)が発売されました。私はこのレシピ本シリーズのファンです。

山本さんのレシピが好きな理由は2つあります。一つ目は、“どこにでもある材料で、できるだけ安く、誰にでもできる料理”というコンセプトのとおり、「あとこれだけ買い足せばいいから作ってみよう」と思えるレシピばかりなところ。そして、ちゃんと失敗なくおいしく出来上がります。二つ目は、読み物としても、おもしろいところ。自分のレシピにつっこみを入れたり、ストーリー仕立てのレシピを作ったり、山本さんの言葉のセンス、素敵です。さっそく新刊の5巻を参考に2品作りました。表紙にもなっている豚肉のレモンバターじょうゆプレート。すごくおいしかったです。でも、今、気がつきましたが、私、バターを入れるのを忘れました…。それでもすごくおいしかったので、バターを入れたらものすごくおいしいと思います。また作ろう。もう一品は練乳入りミルクパウンドケーキです。こっちは入れ忘れなく、作りました。素朴な優しい味で、一切れじゃ止まらなくなるおいしさでした。 【今井】



『ウィンブルドン』ラッセル・ブラッドン(B933-ブ 東京創元社)を読みました。とてもワクワクできる話で、ミステリとスポーツマン同志の言語の壁を超えた友情が味わえます。ここ数年、テニスには疎い人でも、錦織圭選手の活躍は耳に入るだろうし、このおたよりが出るころはちょうど全仏オープンの中だし、そのあとウィンブルドン選手権へと続くので、ちょっとしたテニスブームにのれるのかなあと思って、ために図書館でも何人かに紹介してみました。しかし、登場人物の一人がソヴィエト社会主義共和国連邦出身のヴィサリオン・ツアラプキンとあって、なかなか親しみをもってはもらえないようでした。そうか、みんなが生まれた時には、もう連邦は崩壊した後だったのか。けれど、ツアラプキンのテニスのプレースタイルを知り彼をラスタスと愛称で呼ぶ頃には、ゲイリーや観客同様、歓声や拍手を送りたい気持ちにきつくなります。 【鈴木】